

審査基準(案)

1. 審査基準の考え方

- (1) 応募事案の審査を行うため、事業の目的との整合性、事業の適格性・計画性・合理性、事業者適格性、事業の効果などを審査基準の項目として設定する。

2. 審査の項目

- ① 課題の解消度
- ② CO₂排出削減の見込み
- ③ 事業終了後の出口戦略
- ④ プラスチック資源循環への貢献の見込み
- ⑤ 事業の波及効果
- ⑥ 実施体制・事業計画・スケジュール
- ⑦ 経費の妥当性

3. 審査基準（案）

審査項目	審査の観点	得点配分
① 課題の解消度	○本事業の趣旨を理解しており、実施計画が本事業の目的に照らして合理的で、実現可能性が十分に高いか。 ○申請事業における課題解決策が明確に示されているか。 ○申請事業における課題解決策が、効率的且つ効果的であるか。	15
② CO ₂ 排出削減の見込み	○設備導入によって実現されるCO ₂ 排出量の削減効果、循環資源の循環的な利用の促進効果、エネルギー削減効果、及びその他の環境影響の低減効果がどの程度見込まれるか。 ○上記環境影響低減量に係る評価算定方法が妥当か。	15
③ 事業終了後の出口戦略	○事業終了後、価格競争性や利用先の市場動向が見通せるなど、事業終了後の継続性や製品利用の確度がどの程度あるか。	15
④ プラスチック資源循環への貢献の見込み	○事業を通してどのようにプラスチック資源循環へ貢献するかが明確に示されているか。	15
⑤ 事業の波及効果	○取組の効果・成果は申請者だけでなく、他事業者・他業界への波及効果が期待されるか。	15
⑥ 実施体制・事業計画・スケジュール	○事業の計画・スケジュールが具体的かつ実施可能なものであるか。 ○事業の実施体制は、知見、専門性、ネットワークを有しているか。 ○財務状況等は適切な事業遂行に支障が無いか。	15
⑦ 経費の妥当性	○積算内訳が適切か。 ○当該事業に係る経費算出は、事業成果との比較で妥当なものか。	10
合計		100
<ul style="list-style-type: none"> ・採点は各項目につき、4点、3点、2点、1点、0点の5段階評価とする。 ・各項目の点数に係数を乗じて合計点を算出する。 ・満点は100点とする。 		